

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成26年度 (2014年度)		授業科目	海運経済論	
科目基礎情報							
科目番号	0020			科目区分	専門 / コース必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	ビジュアルでわかる国際物流 汪正仁著						
担当教員	境 善行						
到達目標							
国際規模で展開される物流システムの一部を担う海運に関する概要を知る。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	船速と燃費の関係について具体的な計算ができる			船速と燃費の関係について計算ができる		船速と燃費の関係について計算ができない	
評価項目2	定期船海運の概要を具体例を挙げて説明できる			定期船海運の概要を説明できる		定期船海運の概要を説明できない	
評価項目3	不定期船海運の概要を具体例を挙げて説明できる			不定期船海運の概要を説明できる		不定期船海運の概要を説明できない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海運に関する用語や略号を理解するとともに、海運に伴う経済活動について理解する						
授業の進め方・方法	講義を中心に授業を進めていく 鳥羽丸実習や乗船実習で見た港湾や各種船舶を思い出しておくこと 4年次の貿易物流概論を理解しておくこと						
注意点	前回の講義を踏まえて授業を進めていくので、前回の講義または既に学んだことを復習しておくこと レポート課題を課すので、期限に遅れずに提出すること レポート、その他（ノート提出・出席）等がすべてなされていることを条件に評価するので忘れないこと						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	海運業の構成		海運業の構成について説明できる		
		2週	船舶の建造と船価 1		船舶の建造と船価について説明できる		
		3週	船舶の建造と船価 2		映像を見て内容を理解する		
		4週	船速と燃料消費の関係 1		船速と燃料消費の関係について説明できる		
		5週	船速と燃料消費の関係2		船速と燃料消費の関係の諸計算ができる		
		6週	船舶の大型化と背後要因		船舶の大型化と背後要因を説明できる		
		7週	定期船海運と海運同盟 1		定期船海運の概要を理解する		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	定期船海運と海運同盟 2		海運同盟について考え方を理解する		
		10週	不定期船海運1		不定期船海運の概要を理解する		
		11週	不定期船海運 2		不定期船海運について具体的な例を挙げて説明できる		
		12週	コンテナ輸送とアライアンス		コンテナ輸送とアライアンスの関係について説明できる		
		13週	コンテナ船とコンテナ		コンテナ船とコンテナの種類を説明できる		
		14週	コンテナターミナルと貨物		コンテナターミナルと貨物の取り扱いを理解する		
		15週	期末試験				
		16週	テスト返却		期末試験の解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	30	0	0	0	20	100
基礎的能力	20	10	0	0	0	20	50
専門的能力	20	10	0	0	0	0	30
分野横断的能力	10	10	0	0	0	0	20